

# Meisei Topics

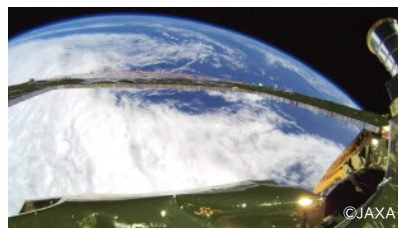
Vol.226  
2026.01

## 新型宇宙ステーション補給機(HTV-X)1号機打ち上げ成功

2025年10月26日、種子島宇宙センターから新型宇宙ステーション補給機(HTV-X)1号機が打ち上げられ、所定の軌道に投入されました。HTV-Xは、「宇宙ステーション補給機(こうのとり)」(HTV)に続き、国際宇宙ステーション(ISS)への物資補給などの役割を担います。

HTV-X 1号機は、ISSから離脱後約3か月に渡る3つの技術実証ミッションが計画されています。当社も開発に関わったモニタカメラが搭載されており、太陽電池パドルの展開状態や曝露カーゴの移設作業のモニタリングに活用されます。

明星電気は、これからもISSへの活動を支え、地球低軌道での有人活動や国際宇宙探査ミッションに貢献していきます。



モニタカメラによる太陽電池パドル展開後の画像

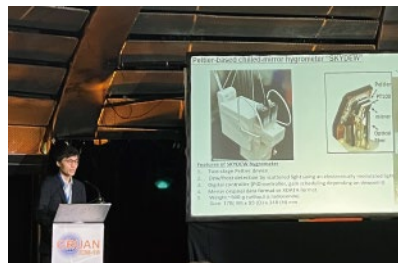
## GRUAN第16回国際会議で露点ゾンデSKYDEWをプレゼン

2025年11月21日～27日、スペイン・テネリフェ島で開催された全球気候観測システム基準観測網(GRUAN)の年次会議にて、当社は露点ゾンデ「SKYDEW」についてプレゼンテーションを行いました。

露点ゾンデは、大気中の水蒸気量を高精度に測定するための機器です。大気中の水蒸気は、雲や降水の発生に関与するだけでなく、温室効果ガスとしても働くため、気候監視の観点からも継続的かつ高精度な測定が求められています。従来の露点ゾンデは冷媒物質を必要としますが、環境負荷が高いため、日本や欧州では使用が禁止されています。

SKYDEWは冷媒を使用せず、冷媒の使用が制限されている地域でも利用可能な、唯一の高精度露点ゾンデとして注目されています。すでにドイツ、イタリア、ノルウェーの観測所で使用され始めており、他の欧州諸国からも高い関心が寄せられています。

明星電気は、今後も高品質な気象観測装置の製造を通じて、気候監視に貢献していきます。



プレゼンを行う当社従業員

## 気象観測器のひみつと天気予報の関係を探る出前授業を開催

2025年12月16日、伊勢崎市立境西中学校にて、IHIグループとお茶の水女子大学が共同で出前授業「高層気象観測器(ゾンデ)のひみつを探ろう」を開催しました。授業では、理科や科学の面白さを伝えることを目的に、当社が製造する気象観測器「ラジオゾンデ」の仕組みや歴史、天気予報における役割について、お茶の水女子大学の吉村和也特任准教授にご解説いただきました。

当日は、2年生約40名が気圧や温度・電気抵抗の実験を体験し、科学技術が社会でどのように役立っているかを学びました。参加した生徒からは、「変化のある実験で楽しかった。学校の授業が社会の大切なことに活かされていると知った」との感想が寄せられました。

明星電気は今後も、理科教育や科学への関心を高める活動に取り組んでいきます。



出前授業の様子

【文中：敬称略】

## Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により、革新的な商品・サービスを創造し、安全・安心な社会の発展に貢献していきます。

